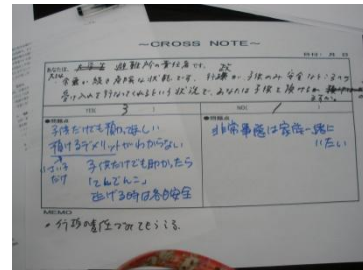


ファシリテーションと避難所運営ゲーム

昨年11月と今年2月に臨床心理士事務所（株）UNITEさんと「避難所運営ゲームでファシリテーションスキルを磨く！」と題して、セミナーを行いました。ご好評をいただいたので、今回は、その様子をご紹介します。

☆避難所運営ゲームとファシリテーションの関係？

避難所は「evacuation area」「evacuation facility」と表現されます。「容易にする」「便宜をはかる施設」などの意味があります。Facilitation とは同じ語源をもつ言葉です。避難所ではファシリテーションのスキルが発揮されるということでしょうか。



☆内容は？

- ・ ファシリテーションのミニ講義
- ・ クロスロード（阪神淡路大震災の経験を伝えるために開発されたゲーム形式のワークショップです。）
- ・ 災害ボランティア実践ワークショップ 避難所運営ゲーム（人と防災未来センターが開発したワークショップです。避難所で起こりうる課題を5分ごとに解決していきます。）

このときには、UNITEの成田さんが愛知ネット「心のケアチーム」のメンバーとして陸前高田市へ赴いた経験を生かしたアドバイスがありました。また、女性の視点からの避難所運営についても考慮しました。

☆参加者の感想は？

- ・ いくつもの「決断」を重ねていくことで、自分の価値観が明確になると思いました。おもしろいね。
- ・ 当日の冷静ではない状況の中で、私がどうなるのか…少し不安ということに気づけた。
- ・ 色々な考えがあるんだなと思いました。

などなど興味深い感想をいただきました。セミナー終了後も考え続ける話題となったようです。